

皇居・東宮御所での勤労奉仕の日々

婦中町農協婦人部長 竹部 喜代子

去る1月30日(月)、JA婦中町前を出発した41名は、多摩御陵を参拝して宿舎に入りました。

奉仕を目的の集団であるから共同生活のコミュニケーションを大切にしたいと考えて選んだ宿舎は、15室が一並びにされており、お互いに声を掛け合う賑やかな毎日となり、恙が無く奉仕を終えて2月4日(土)に帰宅しました。

ここで、4日間の清掃奉仕のあらましを報告いたします。

1月31日(火)宿舎を7時半出発、皇居桔梗門より入門し、奉仕団の休息所である窓明館で着席し、奉仕場所の日程を示されました。8時30分、宮内庁の作業指導員に案内されて、昭和43年に新築された宮殿前の東庭に立ちました。ここは新年参賀の際の国民一般参賀の会場です。

宮殿は7棟で構成され、鉄筋コンクリート造りで延面積は約23,000㎡あり、銅瓦葺き屋根は緑青色、壁は白色、柱や梁は茶褐色の三色で統一されており、清楚さがあふれおおらかでゆったりとした佇まいに息をのみました。又、宮殿は国賓の接待や国の公けの大きな行事に使われる所であるとの事です。

私達は、南庭より中庭に案内され、那智産白砂利が敷きつめられた広い庭園には、南西隅に白梅、北東隅に紅梅が植えられてあり、2本の梅花は満開して美しく、その端正なたずまいに息をのみました。この庭を囲み、

端鳥の棟簷のある正殿、豊明殿、長和殿(新年一般参賀の際には、天皇皇后両陛下始め皇族方が長和殿ベランダに立たれる)、回廊が建っています。各御殿で行われる行事について説明をされ、正殿松の間で行われた「新春歌会の儀」のお話しに、先日のテレビ放映の歌会光景が目の前に浮かび、朗々とした読み歌の声が聞こえてくるようで、しばし陶酔の境地にとらわれました。

南庭に戻り、奥の躑躅の庭へと進み、千鳥、千草の間、天皇陛下が御公務をお執りにられる表御座所を見学し、東庭に出て中門をくぐりました。

これより、二重橋(正門鉄橋)を渡り、伏見櫓をバックに記念撮影を行いました。

午後は、両陛下が阪神地震災害地お見舞で御留守であったので、躑躅の庭の清掃という幸運の奉仕となりました。

2月1日(水)東宮御所内の円遊会が行われる庭園廻りの清掃奉仕を行い、皇太子両陛下の簡素な御所を拝して退所しました。

2月2日(木)皇居東御苑の江戸城跡を見学し、清掃作業を終え汐見坂を下り、二の丸庭園、馬士見櫓下道路から窓明館に至る通路側の清掃にあたりました。

2月3日(金)蓮池廻りの景勝を眺め乍ら歩き、吹上御苑(両陛下のお住いの御所がある)の長いコンクリート塀に沿い進み、大道庭園庭園では樹齢600年の盆栽を見学、宮中三殿、賢所参集所前では宮中行事の説明を受け天皇

陛下の御即位式、皇太子殿下の御成婚の儀式などの放映を思いおこして、団員一同感慨深げに聞き入りました。更に奥に進み、陛下のお手植田、桑園、生物研究所に案内され、養蚕で繭を300キロも生産され、反物に織って海外への土産や内輪の儀式の引出物に利用され、水田や畑作の収穫物は、神々に供えて五穀豊穡を祈る儀式を守られている両陛下の堅実なお暮しを伺いました。

11時40分、蓮池参集所で奉仕の6団体それぞれの前に、天皇陛下、皇后陛下、紀宮殿下が立たれ「ねぎらいのお言葉」を賜りました。これに応え6奉仕団を代表してJA婦中町竹部婦人部長がお三方の万歳三唱の音頭をとり感動の拝謁を終えました。

午後は午前続き桑園の除草に当り、16時

に4日間の勤労奉仕を無事終えて皇居を退出しました。

宮内庁の作業指導職員の方々より「お身体を大切に、無理しないで休み休み仕事をして下さい。みなさんご苦労様です」と、温い言葉がかけられて作業をし、宮内庁総務課の安原課長が「ありがとうございました。又来て下さい。」の言葉を繰り返され乍ら、丁重に桔梗門を出るまで見送って下さいました。

お優しく気品にあふれた両陛下と紀宮殿下に間近くで賜ったお言葉や御会釈、奉仕団員なればこそその心に残る光栄の旅となりました。

終りに奉仕団の実施に頂いた皆様のご支援に深く感謝を申し上げます。